

# 看護職の定着に求められるもの

## ■ 福井県済生会病院の取組 ■



2009.9.28 福井県済生会病院

副院長・看護部長

大久保清子

# 福井県済生会病院の概要

**理 念** 患者さんの立場で考える

**創 立** 1941年

**病 床 数** 466床 (ホスピス20床 : SCU 6床含)

**病 床 利 用 率** 94.2%

**外 来 患 者 数** 1,250名/日

**平 均 在 院 日 数** 13.2日

**診 療 科** 22科

**入 院 看 護 配 置** 7対 1

**全 職 員 数** 1,116名 (内看護部606名)

# ビジョン：日本一の地域医療支援システムを構築する

平成5年：新病院へ移転、オーダリング開始（福井初）

開放型ベッド20床（福井初）健診センター設立

平成07年：放射線治療開始（ライナック）

平成10年：独立型緩和ケア病棟（ホスピス）開設（福井初）

平成14年：電子カルテ運用開始（福井初）

平成15年：がん診療連携拠点病院に指定

平成16年：地域医療支援病院に指定（北陸初）

平成17年：東館 PETセンター開設 新健診センター開設

平成18年：SCU（脳卒中センター）開設（日本海側初）

平成20年：肝疾患診療連携拠点病院に指定（福井唯一）

平成20年：AHA公認BLS－ACLSトレーニングセンター開設

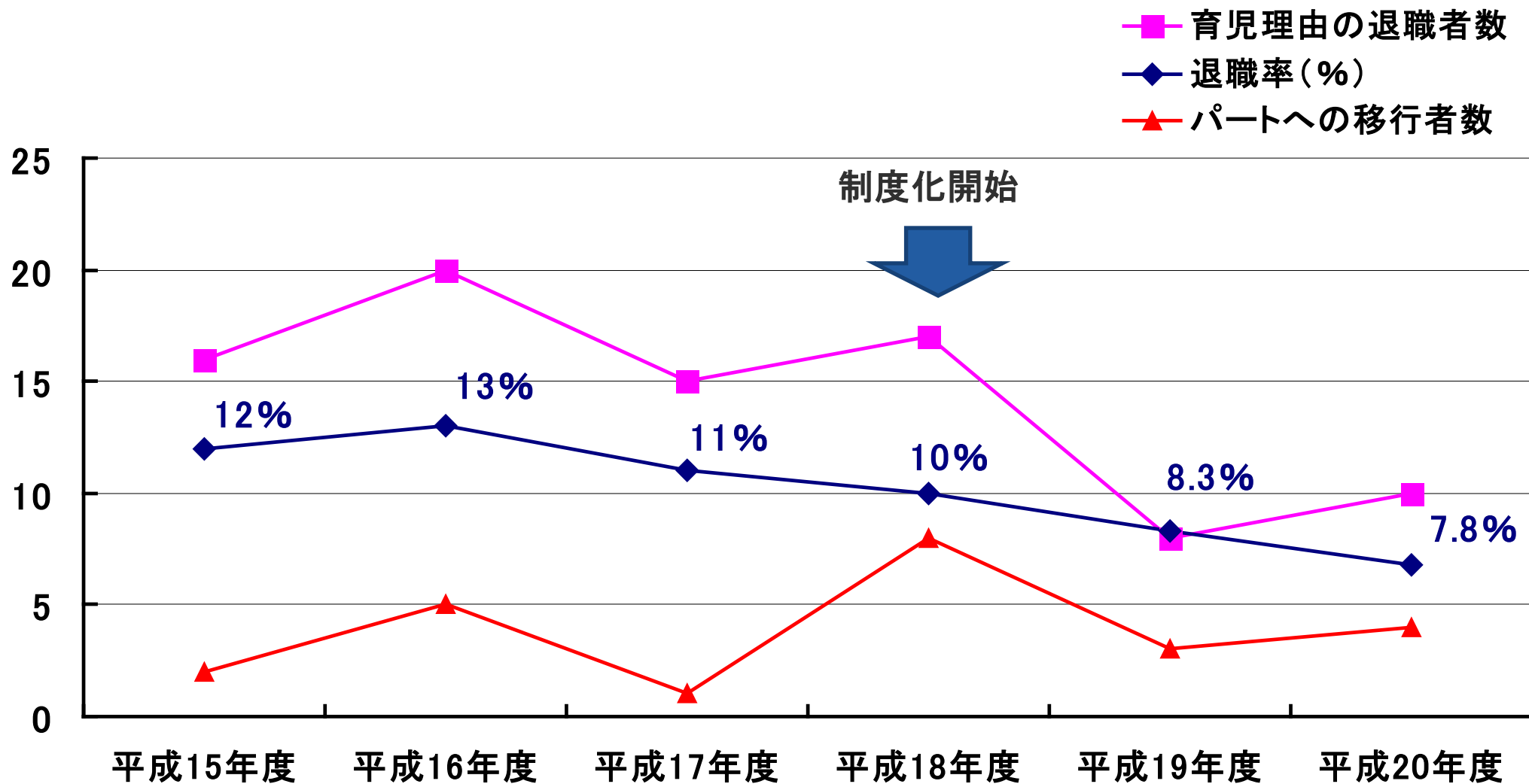
（日本で4番目・病院では初）

平成21年：トモセラピー導入（日本で11番目・北陸初）

# 看護職員基礎データー（平成20年度）

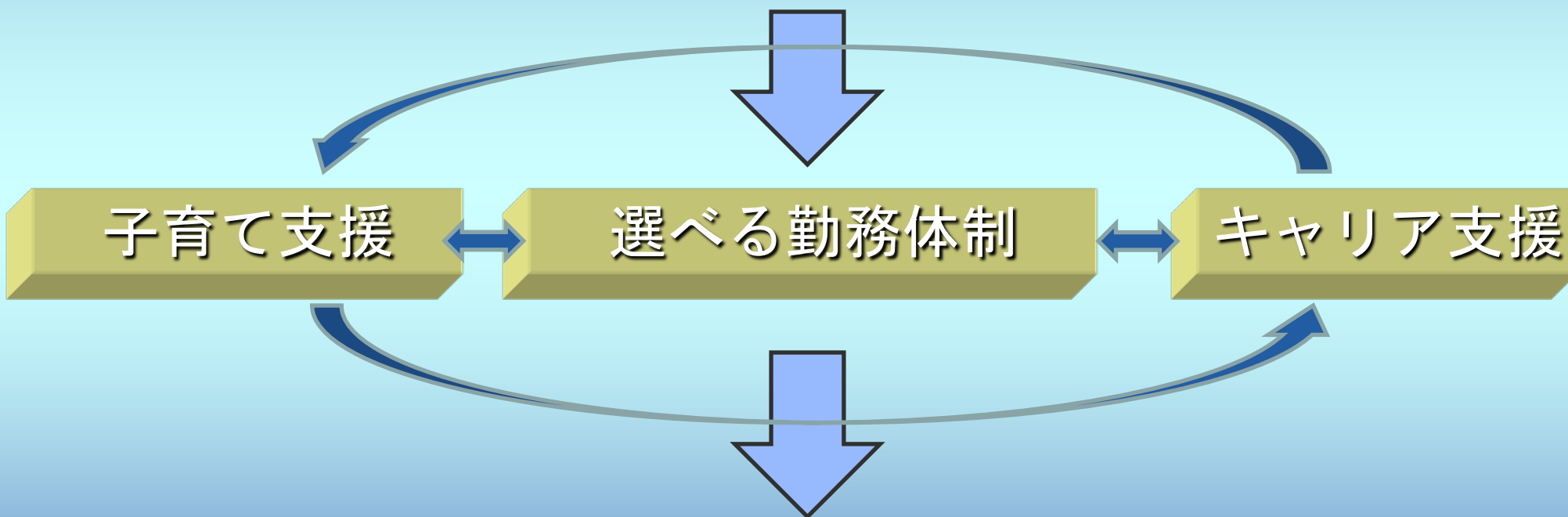
平均年齢	30.1歳
平均在職年数	10.2年
離職率	7.8%
有給休暇消化率	52.3%
残業時間（1ヵ月平均）	7.1時間
短時間正職員制度利用者	28名
夜勤免除制度利用者	48名
就学前有子率	パート 31.8 % （ 27名）
	正職員 26.9 % （111名）

# 当院における看護職の退職状況



# 福井県済生会病院での対策

平成20年度の重点目標 働き甲斐のある職場



看護職の定着策の一環

# 定着への対策内容

## 1. 選べる勤務体制

- 1) 短時間正職員制度
- 2) パートは1時間から可能
- 3) 夜勤免除制度

## 2. 子育て支援

## 3. キャリア支援

## 4. 定着率向上のための改善策

# 1. 選べる勤務体制

## 1) 短時間正職員（6時間）制度 2007年11月開始

【目的】 育児・介護・体調不良などの職員に、家庭での役割を果たしながら仕事も続けたいという人を支援する

【手続方法】 1. 所属長が承認後「短時間勤務申出書」を記入  
副院長・看護部長室へ提出  
2. 短時間勤務申出は、4月・10月（この限りではない）

【労働時間】 本人の希望する時間帯

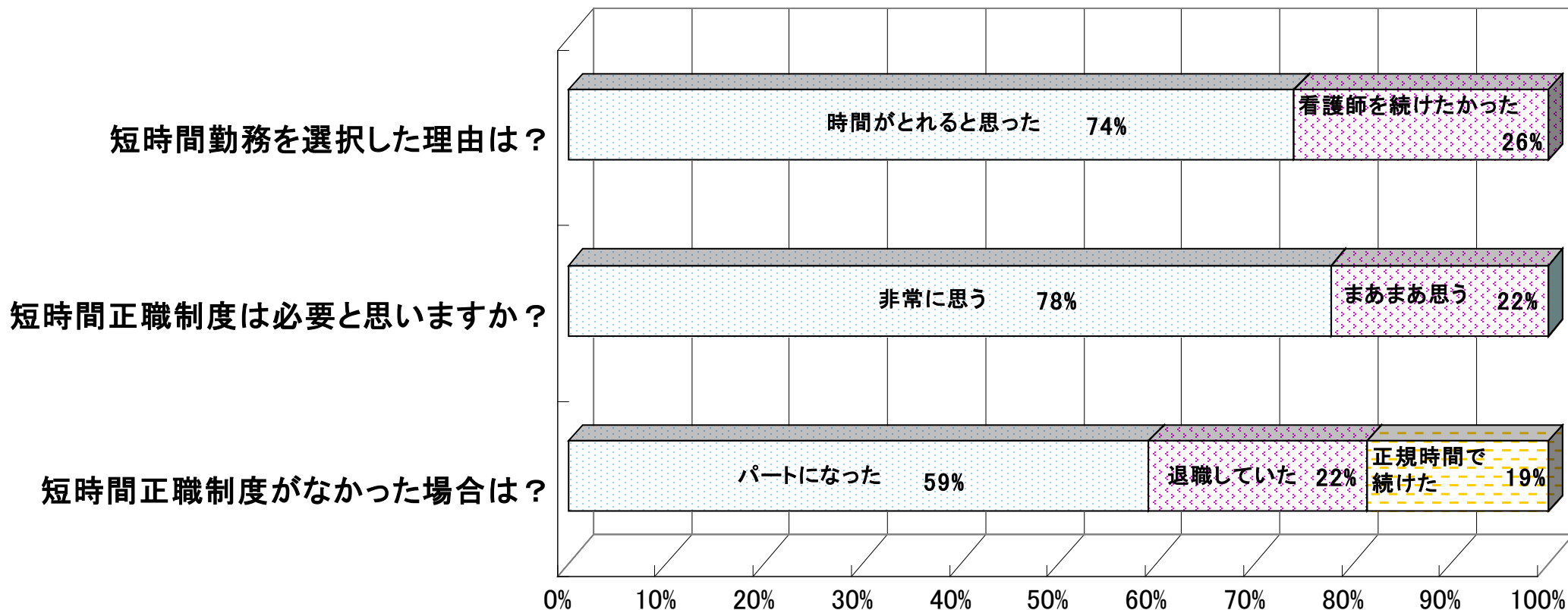
【賃金】 1. 給与は基本給の75%を支給  
2. 定期昇給、退職金、賞与はその期間に応じて支給  
3. 本制度の適応を受ける期間も職員として対応



# 短時間正職員制度利用の反応

2009.9調査

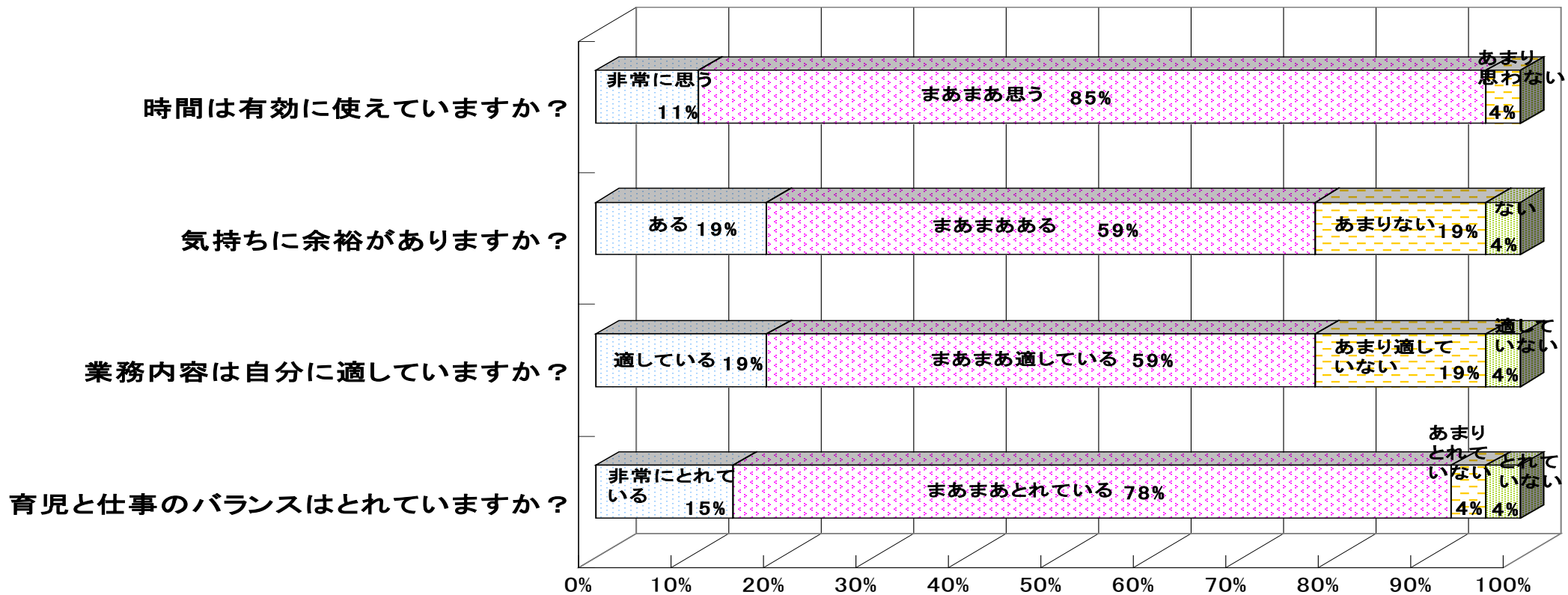
n=27名



# 短時間正職員制度利用の満足度

2009.9調査

n=27名



## 2) パートは1時間から可能 2007年4月開始

- 自分の働ける時間だけ勤務のパート職員が地域で情報を伝えてくれる
- 紹介や話を聞いて働くことを希望（□コミ）
- パートでまず働いてみて、自分に合う病院であるかどうかを判断し、正職員へと希望する人も増加



**看護職の確保定着**

### 3) 夜勤免除制度

2006年9月開始

#### 【目的】

家庭の事情や体調不良により

■夜勤が出来ない      ■夜勤回数を減らして欲しい  
という人に対して勤務が続けられるように支援する

#### 【夜勤免除制度対象者】

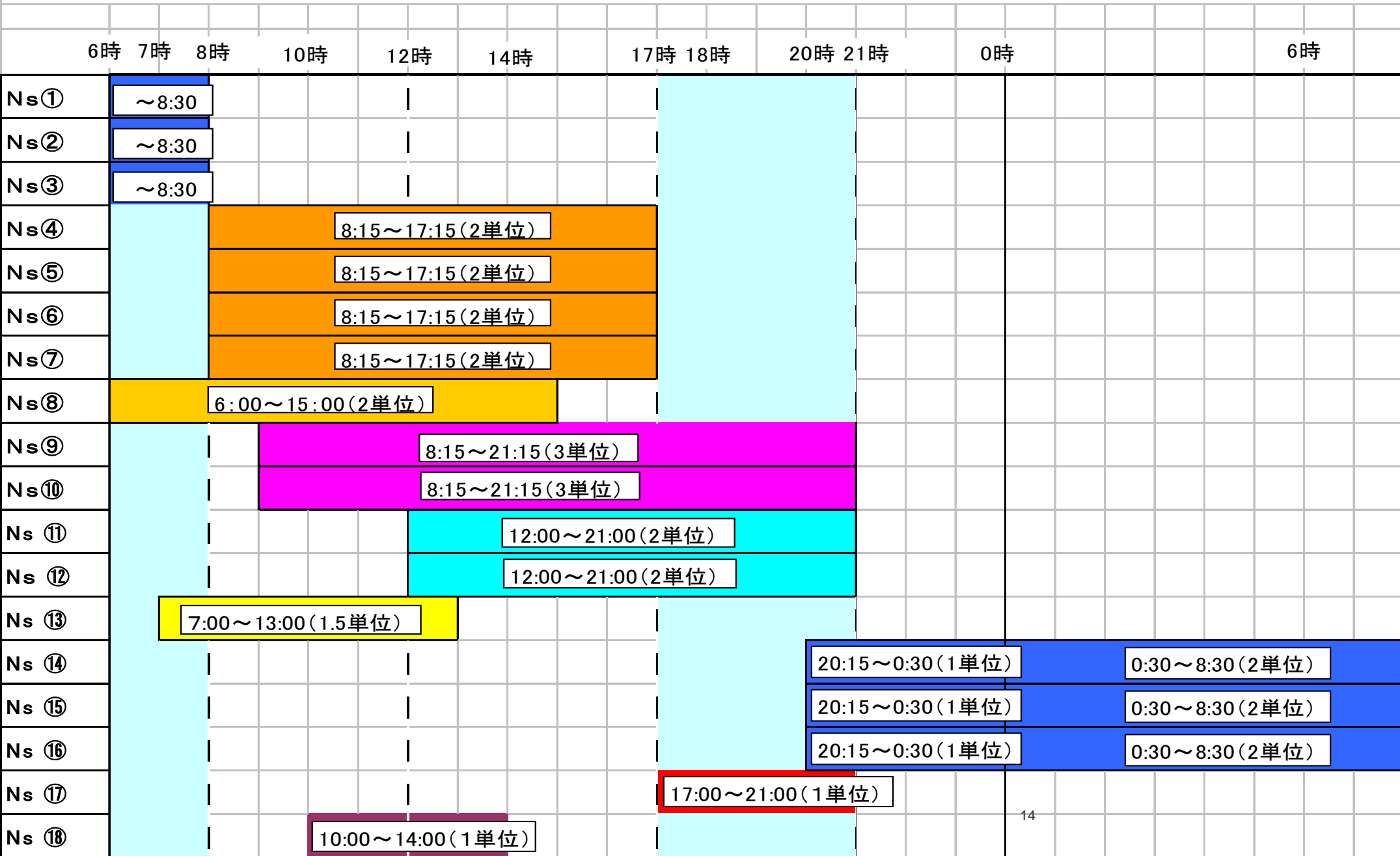
産前産後 ・ 育児 ・ 介護 ・ 体調不良 ・ 長期研修

#### 【夜勤回数による手当】 (公平性)

夜勤6回以上/月	:	10,000 円
夜勤5回以下/月	:	5,000 円
夜勤免除	:	0 円



# 多様な勤務形態導入後の勤務時間帯状況の例(24時間)



# 超過時間・パート看護職・退職率の推移

	超過時間／月	パート看護職	退職率
平成 17年度	11.6時間	42名	11%
平成 18年度 多様な勤務体制導入	9.4時間	33名	10%
平成 19年度	8.0時間	56名	8.3%
平成 20年度	7.1時間	78名	7.8%

# 多様な勤務体制の導入ポイント

## 1. 勤務時間4時間を1単位とした考え方

1週間・5日×1日・8時間＝40時間・・・10単位

1週間・5日×1日・6時間＝30時間・・・7.5単位

## 2. 業務内容の見直し

1) 必要なケアが必要な時に必要とされるだけ適切に提供

2) 引き継ぎの工夫

Point 患者参加型での診療提供

## 3. スタッフの受け入れ

1) 自分たちのため

2) 専門職としての自覚

3) 固定観念を捨てる

Point 副部長・師長の熱意と活気



## 2. 子育て支援

### 院内保育所「ぽっかぽか園」病院併設施設

- 対象児 : 0歳児～3歳児（4歳未満）
- 定員 : 70名 （平成21年5月に50名から70名に増員）
- 職員数 : 看護師 2名・准看護師パート1名  
保育士 23名・事務1名 ※病院より出向

- 【 保育体制 】 365日24時間体制
- 【 対応時間 】 残業・夜勤の時間帯も対応
- 【 保育費 】 月額35,000→20,000円へ減額
- 【 利用率 】 年間平均：定員の98%～100%
- 【 利用職種 】 看護職(約9割)・事務職・医師など

### 3. キャリア支援

#### 専門性の活用・・・活動の場の保証

- 看護外来      DM療養指導者  
                    感染管理認定看護師  
                    緩和ケア認定看護師  
                    皮膚・排泄ケア認定看護師      (2名)
  - ホスピス病棟      緩和ケア認定看護師      (2名)
  - 腫瘍外来      がん化学療法認定看護師      (2名)
  - HD      透析認定看護師
  - 救急室      救急看護認定看護師
  - ICU      摂食・嚥下障害看護認定看護師  
                    救急看護認定看護師
  - 女性診療センター  
                    乳がん看護認定看護師
- 認定看護管理者

認定看護師    合計14名



# BLS-ACLS-PALS 受講者数

(1次救命) (2次救命) (小児救命)

福井県済生会NPO・AHA-ACLSセンター

	BLS プロバイダー	BLS インストラクター	ACLS プロバイダー	ACLS インストラクター	イ PALS プロバイ ダー	PALS インストラ クター
【院内】	( )内は職員数に占める割合(%)					
医局	85(72.0%)		71(63.6%)	11	7	2
看護部	375(68.1%)	19	98(19.5%)	6	3	2
放射線技術部	14(38.9%)					
リハビリ	11(36.7%)		3			
薬剤部	14(48.3%)		2			
検査部	14(41.2%)		2			
栄養部	11(31.4%)					
ME	13(59.1%)	3	3			
事務	37(33.6%)	1				
合計	574 名(63.0%)	23	179(19.6%)	17 <sup>20</sup>	10	4

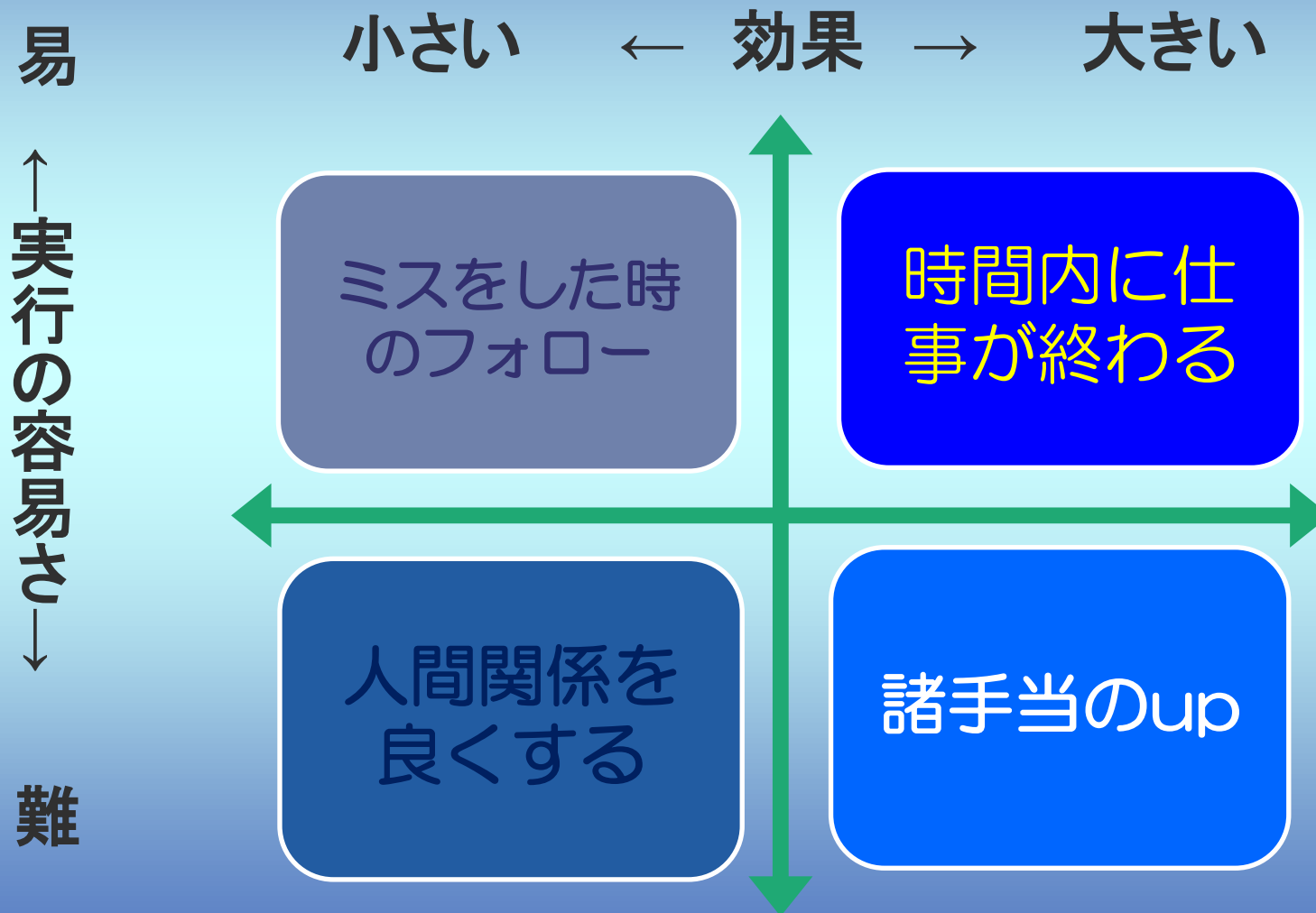
# BLS ヘルスケア プロバイダー



# 病院全体・リーダー育成トレーニング風景



## 4. 定着率向上のための改善策



## ■ 時間内に仕事が終わらない理由

1. 医師の診察、指示が時間外
2. 入院決定した患者を病棟へ導くのが遅い
3. 薬を病棟へ配置するのが遅い
4. 勤務時間中に研修や委員会が入り、業務が中断され、  
残業になる
5. 看護ケア以外の業務が多い

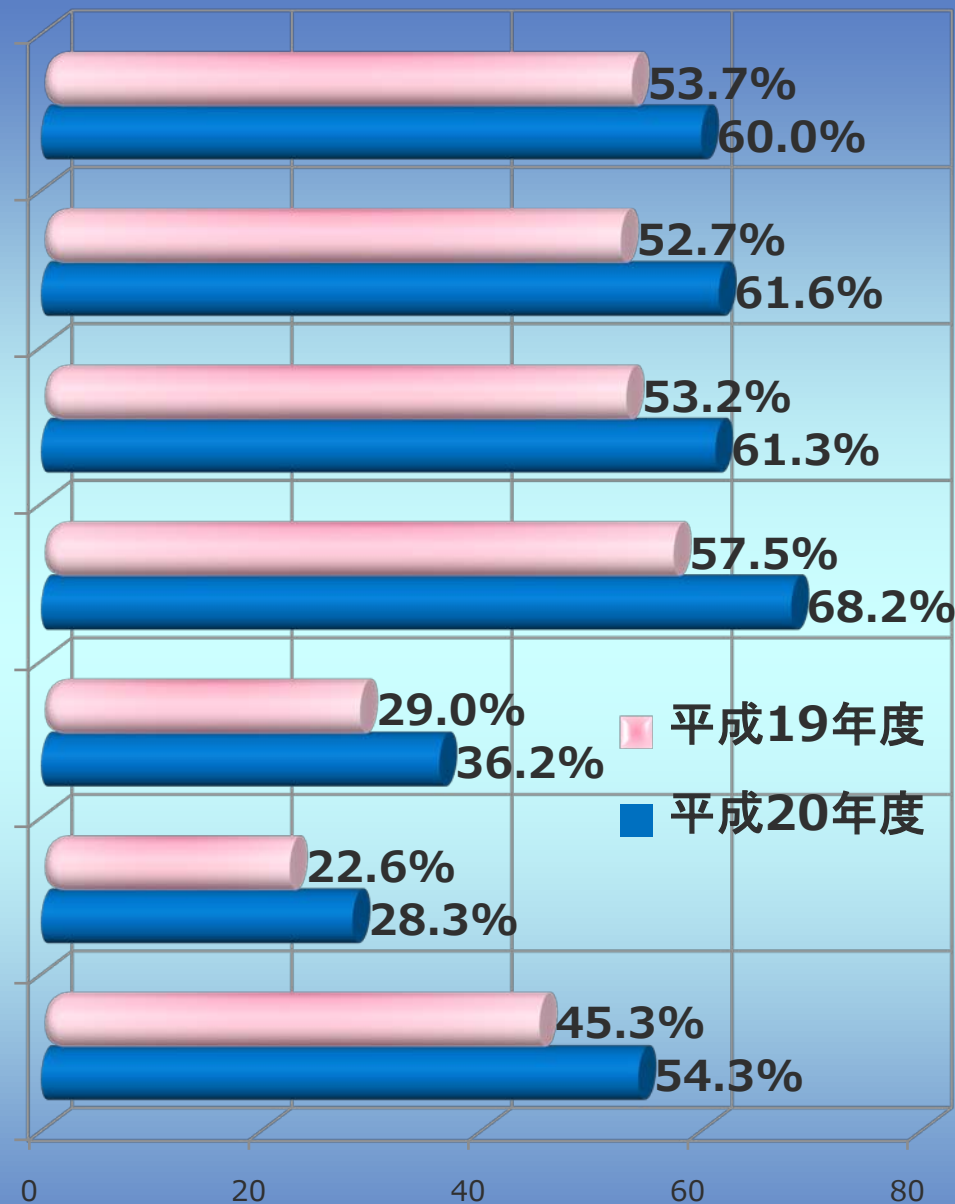


## ■ 公平性な諸手当

1. 看護職全員に7対1看護配置手当 10,000円/月
2. 夜勤の回数による手当 10,000円~0円
3. 院内保育費の減額 月額35,000円→20,000円に減額
4. 職員寮費 月額38,000円→27,000円に減額
5. 育児休業中の職員への経済的援助  
出産1回につき、一律で10万円支給

# 職員満足度の変化

全体として、この病院で働いていることに満足している  
家族、友人、知人などが病院勤務を希望するなら、この病院を薦める  
自分がこの病院にとって必要な人材だという手ごたえを感じる  
他の病院への転職は考えたことがない  
今後もこの病院で働くことで、専門的な技能や知識が向上すると思う  
職場の人間関係に満足している  
家族、友人、知人などが病気になったら、この病院を薦める



# 新人看護職定着に効果的対策／新人50名

- 教育
  - 1. 新人教育プログラム
  - 2. プリセプターシップ体制
  - 3. プリセプターからプリセプティィへの手紙
  - 4. 専門的分野のOJT
  - 5. 時間内の研修
  
- 制度
  - 1. 奨学金制度
  - 2. 親睦会行事（国内・海外旅行 家族班有）
  - 3. NO残業day
  
- 環境
  - 1. 職員寮
  - 2. SCU・ホスピスの存在
  - 3. 医療安全対策に取り組む組織環境

# 2年目以上の看護職定着に効果的対策／師長23名

- 教育
  - 1. 目標面接
  - 2. ラダー研修
  - 3. 研修参加への支援体制
  - 4. 新採用者指導開始計画
- 制度
  - 1. 夜勤回数による手当
  - 2. 看護配置7対1体制手当
  - 3. リフレッシュ休暇
  - 4. 感激レポート
  - 5. 福利厚生
  - 6. 勤務希望調査
  - 7. 親睦会行事（国内・海外旅行 家族班有）
  - 8. NO残業day
- 環境
  - 1. 職員寮
  - 2. 24時間体制の院内保育所
  - 3. SCU・ホスピスの存在
  - 4. 医療安全対策に取り組む組織環境
- 体制
  - 1. 理念や方針の周知
  - 2. 選べる多様な勤務体制



# 新採用者指導開始計画表

	4月	5月	6月
注射	皮下注射 ミキシング 側注	持続点滴の管理 静脈注射 サフロ針留置 輸血の取り扱い 輸液ポソフ・リゾポソフの使用 点滴の定期・臨時の流れ	筋肉注射 注射に関する指示受け（指導者と共に）
与薬	座薬の挿入 吸入	内服薬の準備と与薬 麻薬・向精神薬・劇薬の取り扱い GE浣腸	定期処方の流れ 内服薬に関する指示受け（指導者と共に）
検査・処置	DT測定 採血 吸痰 清潔不潔の操作 バルーンカテーテル留置 酸素療法の準備と施行（ナーザル・マスク・インスピロン） HM装着と記録 自動血圧計の使用	CVカテ-ル挿入の介助 マゲソソゲ挿入 経腸ポソフの使用 電子カルテによる指示確認の方法	
医療安全	採血時のPDAによる指示と患者の確認 点滴施行時のPDAによる点滴と患者の確認 ネームバンドによる患者確認 針刺し事故の対応	ドレーン等チューブ類の管理 転落・転倒等の危険防止対策	
看護	入院時オリエンテーション アナムネ聴取 PDAの使用 電子カルテの入力 夜勤業務の理解	経管栄養 退院指導 看護サマリーの入力 看護情報提供書の入力 Q <sup>2</sup> カートの物品と使用方法	レスピレーターの管理 救急時の対応
接遇・その他	挨拶 ナースコールの対応 電話の対応 緊急時のDrへの連絡方法 感染防止対策	お見舞い客への対応 Drハート依頼の方法	

# 看護職の定着に効果的対策

- 選べる勤務体制
  - 1. 短時間正職員制度
  - 2. 働ける時間帯でのパート採用
  - 3. 夜勤免除制度と夜勤回数による手当
- 院内保育所
  - 1. 24時間体制
- キャリア支援
  - 1. 認定看護師の活動と人数
  - 2. 適材適所の勤務場所
  - 3. 個人別キャリアアップ面接と目標管理
  - 4. 復職看護職には個別対応でのプログラム
  - 5. ラダー研修＋病院全体のプログラム
- 業務整理
  - 1. 時間内に仕事が終えるための業務整理
  - 2. メンタルサポートシステム

# 看護職定着の今後の課題

1. 就学から低学年の児童の対応
2. 病児の対応（インフルエンザ等の感染症）
3. 新人教育では、技術指導の開始と到達する時期の検討
4. 個別のメンタルケア
5. 継続した業務整理

*fin*